

4 OJTに取り組んで

成 果

- OJTに取り組むことで、教職員個々の力量向上が図られ、それが指導へと反映され、児童の変容へとつながっていった。
指導の改善や児童の変容を感じ取れると、OJTを意図的に設定しなくても日常的に学び合いが行われるようになり、それを繰り返すことで学校教育目標へ迫っていくことができる。
- OJTをきっかけに、校内での学び合う意識や、個々が持っている能力を広めていこうとする姿が見られた。
特にOJTを設定しなくても日常的に学び合おうとする意識を感じ取れるようになった。

《先生方の声》

新しい知識を学ぶ場として有効であると同時にすぐ使える方法を考えることができる。

《先生方の声》

短時間でも気軽に行えることが大切。学び合う姿勢を大切にしていきたい。

今後に向けて

- 学び合いに対する職員の意識は高いが、OJT実施のための時間確保に対しては多忙感との折り合いをつけるのが難しい。
OJTによって得た知識が後の作業時間を短縮したり、児童の変容につながったりするものだということを更に意識して伝えていくことで、OJTに割く時間が多忙感を増長させないものになるように考えていく。



外部の講師を招いて



面談技術に興味津々